

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

入院曜日別の早期リハビリテーション開始率の差と在院日数との関連の検討—DPCデータを用いた後方視的観察研究—

2. 研究の対象患者

2025年4月1日～2026年3月31日に当院へ入院した方のうち、DPCデータから本研究に必要な情報が取得可能な方で、除外基準のいずれにも該当しない方を研究対象者とする。

(1) 選択基準

上記の期間中に当院へ入院した方のうち、入院日、退院日、在院日数、入院曜日、年齢、性別、緊急入院の有無、入院時ADL、リハビリテーション実施日等、本研究に必要な情報が取得可能な方を対象とする。

(2) 除外基準

1. 主要解析項目に欠損を認める方
2. データ連結が困難な方
3. 精神科入院、新生児関連入院等、急性期病棟入院と性質が大きく異なる方
4. 在院日数が急性期病棟における通常の診療経過から大きく逸脱する方
5. 入院から初回リハビリテーション実施までの日数が著しく長い方

3. 研究の対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日

4. 研究の概要

本研究は、当院DPCデータを用いて、急性期入院患者における入院曜日別の早期リハビリテーション開始率の差と在院日数との関連を後方視的に検討する観察研究である。対象は2025年度に当院へ入院しリハビリを実施した患者とし、患者背景、入退院情報、診断情報、重症度、手術情報、リハビリテーション実施状況等を用いて解析を行う。入院曜日別に入院3日以内のリハビリテーション開始率および在院日数を比較するとともに、年齢、性別、緊急入院の有無、入院時ADL、意識レベル、手術の有無等を考慮して、在院日数に関連する因子を検討する。これにより、当院入院患者において、入院曜日別の早期リハビリテーション開始率の差と在院日数との関連を明らかにし、あわせて在院日数および早期リハビリテーション開始に関連する因子を検討することを目的とする。

5. 研究実施予定期間

2026年5月20日～2028年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔患者者背景〕年齢、性別、生年月日、身長、体重

〔入退院関連項目〕入院年月日、退院年月日、入院経路、予定・救急医療入院区分、救急車搬送の有無、退院先、退院時転帰、入院から24時間以内の死亡の有無

〔診断関連項目〕主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、DPCコード、入院時併存症、入院後発症疾患、ICD10コード

〔重症度・機能関連項目〕入院時ADLスコア、退院時ADLスコア、入院時意識障害がある場合のJCS、要介護度

〔手術・治療関連項目〕手術名、手術開始日、人工呼吸治療の有無

〔リハビリテーション関連項目〕リハビリテーション実施の有無、リハビリテーション実施日、心大血管リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション料、各リハビリテーション実施日

〔主要評価項目〕 在院日数

〔副次評価項目〕

1. 入院3日以内のリハビリテーション開始の有無
2. 入院から初回リハビリテーション実施までの日数
3. 退院時ADLスコア
4. ADL変化量(退院時ADLスコア－入院時ADLスコア)
5. 緊急入院割合
6. 退院先
7. 退院時転帰

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：リハビリテーション科 横谷 浩士

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)